LIXIL　ラフィーネ門扉取付部品　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
　表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。 ●製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠警告

●門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。
●門扉の種類によっては、デザイン上格子間のすき間が大きく頭や足が入りやすいものがあります。段差のある場所や高所への施工は控えてください。重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

●商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

🔑ポイント

●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●指定寸法は必ず守ってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

🔑ポイント

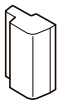
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
　・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
　・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
　　特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
　・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

⚠ 注 意

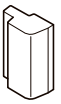
●製品の強度低下、またはケガの原因となりますので、下記事項をお守りください。
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
M4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）
M5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）
M8ボルト：12.5N・m±0.5N・m（125±5kgf・cm）

■梱包明細表

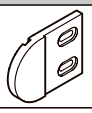
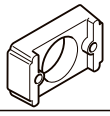
【1】鋳物アームRF錠用

名　称	略 図	員 数	
		片錠	両錠
ヒンジ（上）		1	2
ヒンジ（下）		1	2
ヒンジカバー		2	4
ヒンジキャップ		2	4
落とし棒ホルダー		—	1
落とし棒		—	1
落とし棒受け		—	1
アーム錠用片錠裏板		1	—
【1-1】M5×25サラ小ネジ		—	2
【1-2】M5×20六角穴付止めネジ		2	2
取付説明書（A579）	—	1	1

【2】ELA錠用

名　称	略 図	員 数	
		片錠	両錠
ヒンジ（上）		1	2
ヒンジ（下）		1	2
ヒンジカバー		2	4
ヒンジキャップ		2	4
落とし棒ホルダー		—	1
落とし棒		—	1
落とし棒受け		—	1
戸当り		1	1
ラッチ錠用片錠裏板		1	—
【2-1】M5×25サラ小ネジ		—	2
【2-2】M5×20六角穴付止めネジ		4	4
【2-3】M5×25ナベ 小ネジ(SW)		2	2
取付説明書（A579）	—	1	1

【3】鋳物アームRF錠用片外開き部品　**オプション**

名　称	略 図	員 数
片外開き戸当り		1
スペーサー		1
裏板		1
【3-1】M5×14トラス小ネジ		2

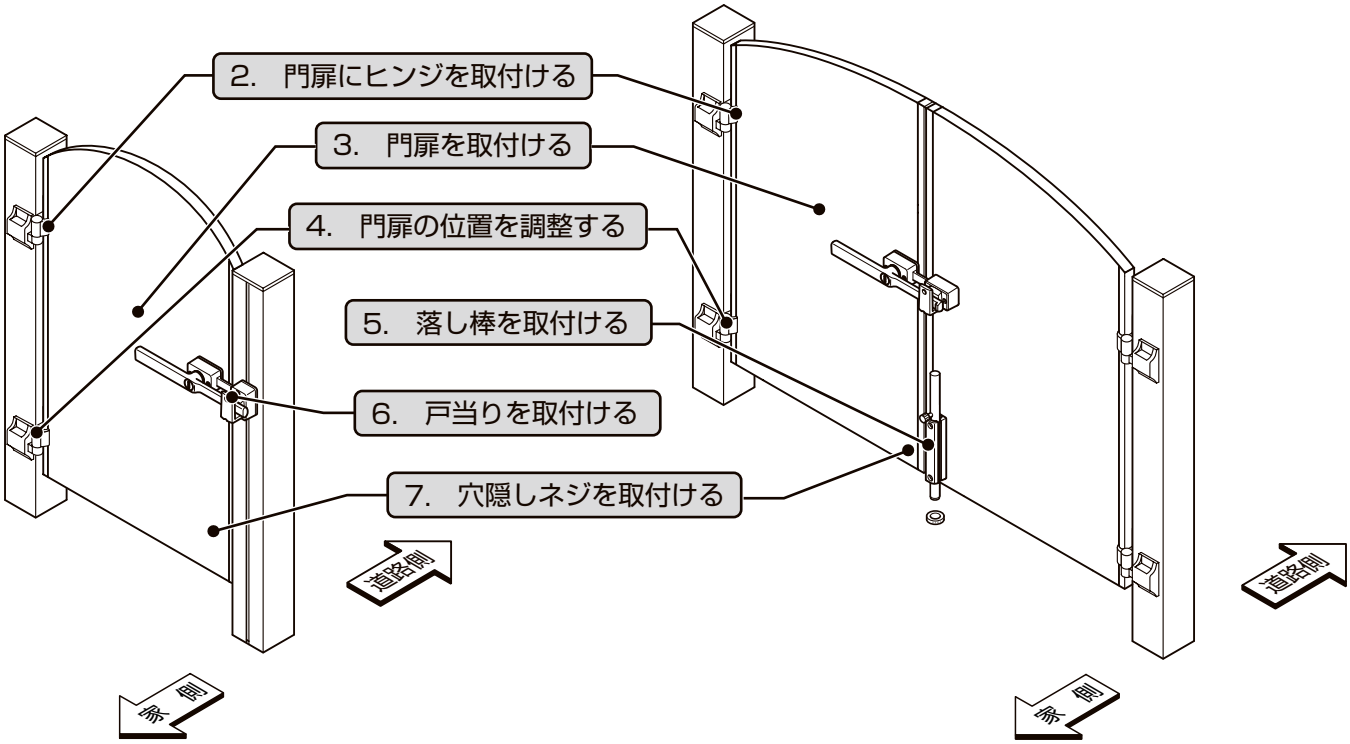
A579_201303A

1. 取付けの流れ

※図は鋳物アームRF錠の右勝手、内開き仕様を示します。

●下記、2.～7.の順に施工してください。

1-1 片錠　　1-2 両錠



2. 門扉にヒンジを取付ける

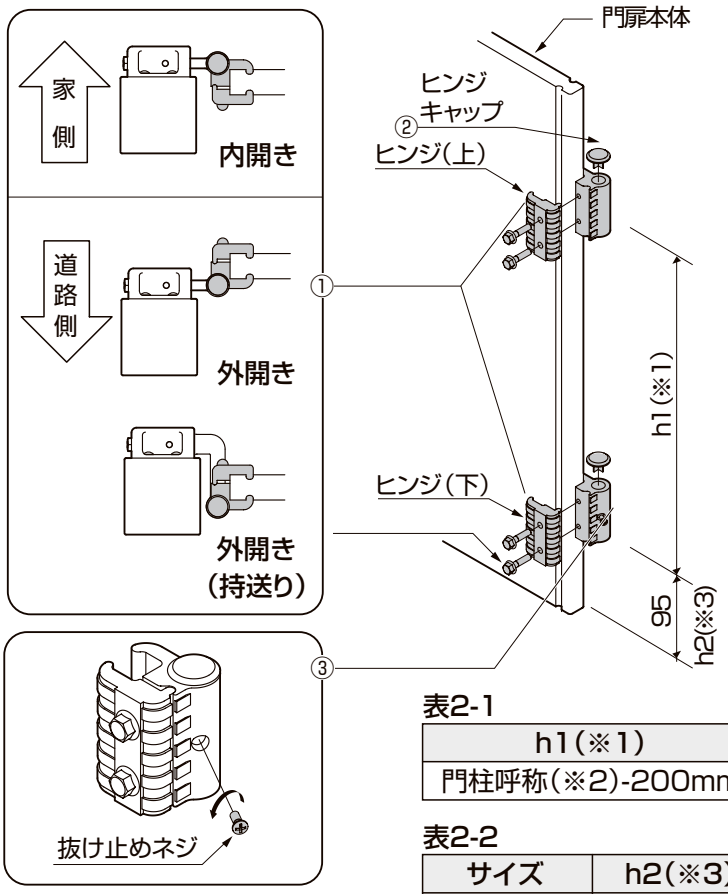


表2-1

h1(※1)
門柱呼称(※2)-200mm

表2-2

サイズ	h2(※3)
H10	35
H12	15

①ヒンジを、門扉吊元側の溝に合わせて挟み、「ヒンジボルト」で固定してください。

ポイント

- 埋込仕様の場合のh1寸法は、埋込金具の取付説明書をご覧ください。（※1）
- 門柱呼称（※2）は、下記の例に示すように読み替えてください。
  例）門柱呼称：H12→ 1200mm
- 「抜け止めネジ」付のヒンジを下側に取付けます。
- 4型門扉W04を門柱へ取付ける場合のみ、表2-2のh2寸法にしてください。（※3）

②ヒンジキャップをはめてください。

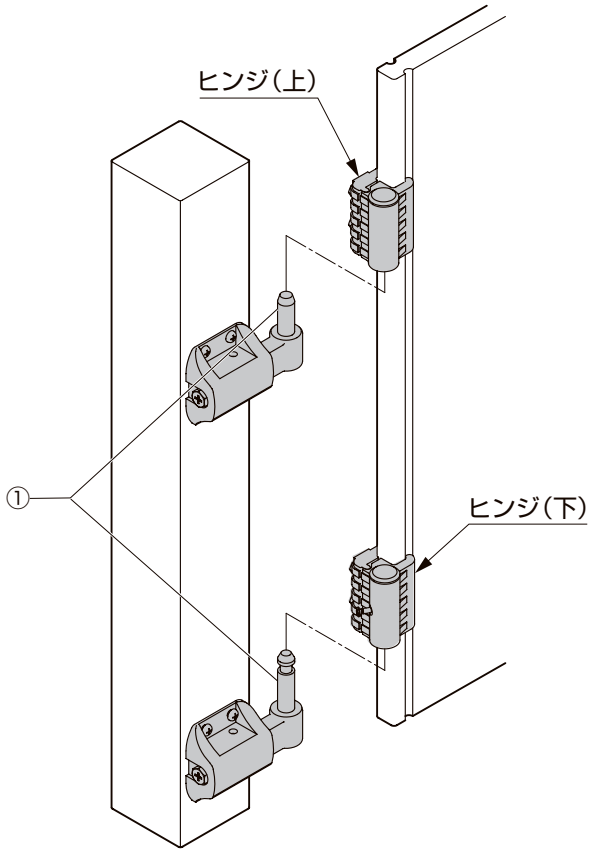
ポイント

- ヒンジキャップは、プラスチックハンマー等でたたいて取付けてください。

③ヒンジ（下）の「抜け止めネジ」をゆるめてください。

A579_201303A

3. 門扉を取付ける

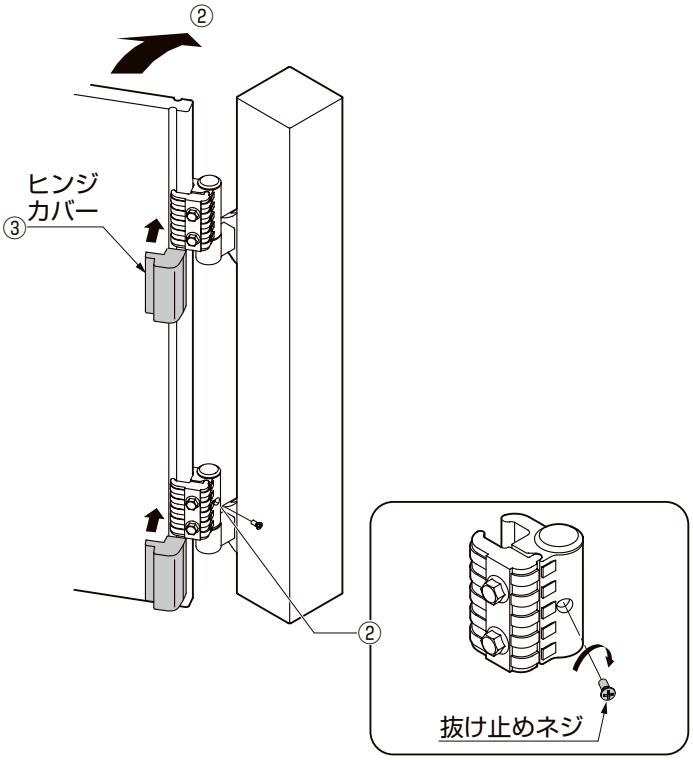


①ヒンジ（下)、ヒンジ（上）の順に調整金具のシャフトに差込んでください。

ポイント

●ヒンジを調整金具に差込む際、調整金具の上下のシャフトの中心を、水糸などを使用して合わせてください。調整方法は、「4. 門扉の位置を調整する」を参照してください。中心がずれると開閉時の音なりが発生することがあります。

●開閉時に音なりが発生した場合、門扉を取外し、シャフトおよびヒンジの穴内のゴミなどを取除いた後、市販の潤滑用グリースをシャフトおよびヒンジの穴に十分塗布し、再び門扉を取付けてください。



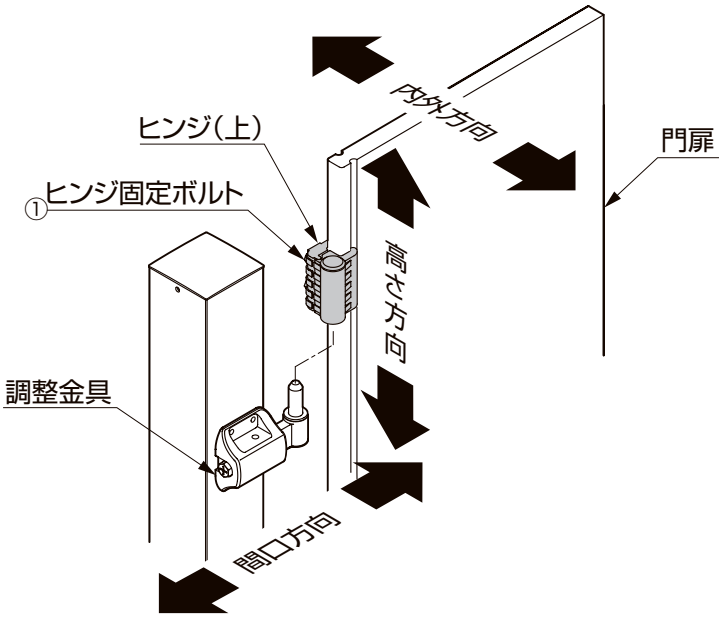
②門扉をあけ、ヒンジ(下)の「抜け止めネジ」を締めてください。

③ヒンジカバーを取付けてください。

A579_201303A

4. 門扉の位置を調整する

4-1 高さ方向の調整

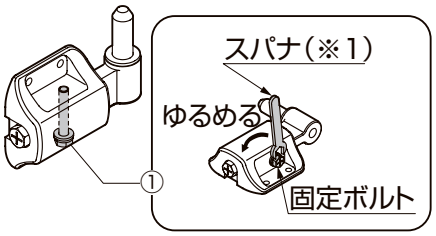


①高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ボルトをゆるめ、ヒンジをスライドして調整してください。

ポイント

●門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。

4-2 間口方向・内外方向の調整



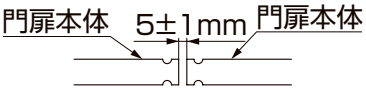


図4-1

①調整金具の固定ボルトをゆるめてください。

ポイント

●固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと固定ボルトが破損します。
●必ず市販の呼び10スパナを使用してください。（※1）

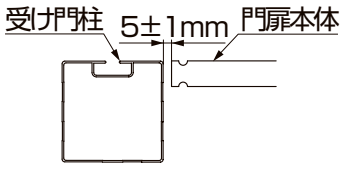
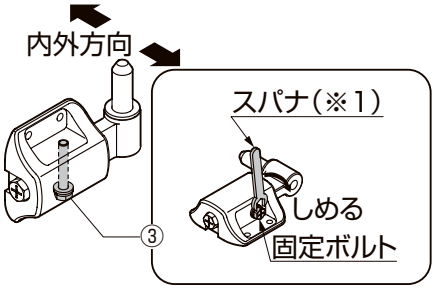


図4-2

②調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

ポイント

●両開きの場合、門扉本体と門扉本体のチリ寸法は5±1mmに調整してください。（図4-1参照）
●片開きの場合、門扉本体と受け門柱のチリ寸法は5±1mmに調整してください。（図4-2参照）



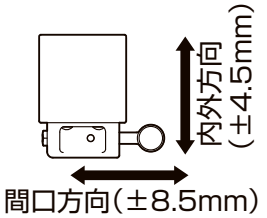


図4-3　調整範囲

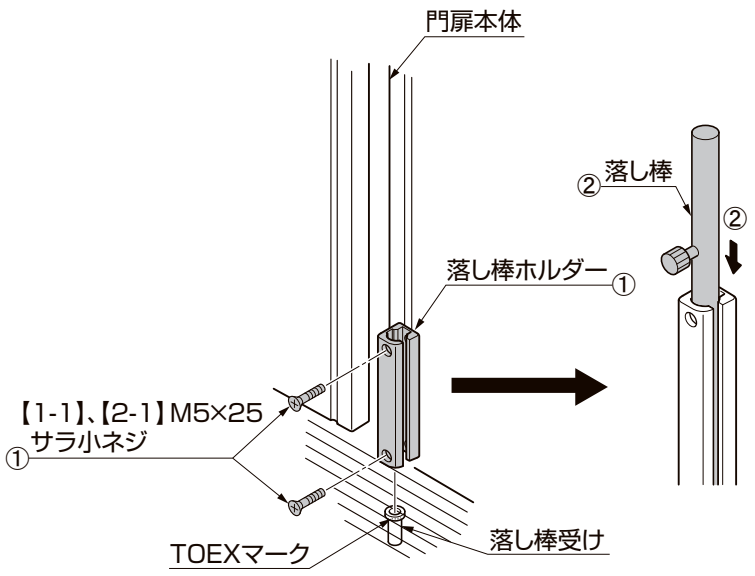
③内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

ポイント

●調整範囲は図4-3を参照してください。

A579_201303A

5. 落し棒を取付ける ※両開きの場合のみの作業です。



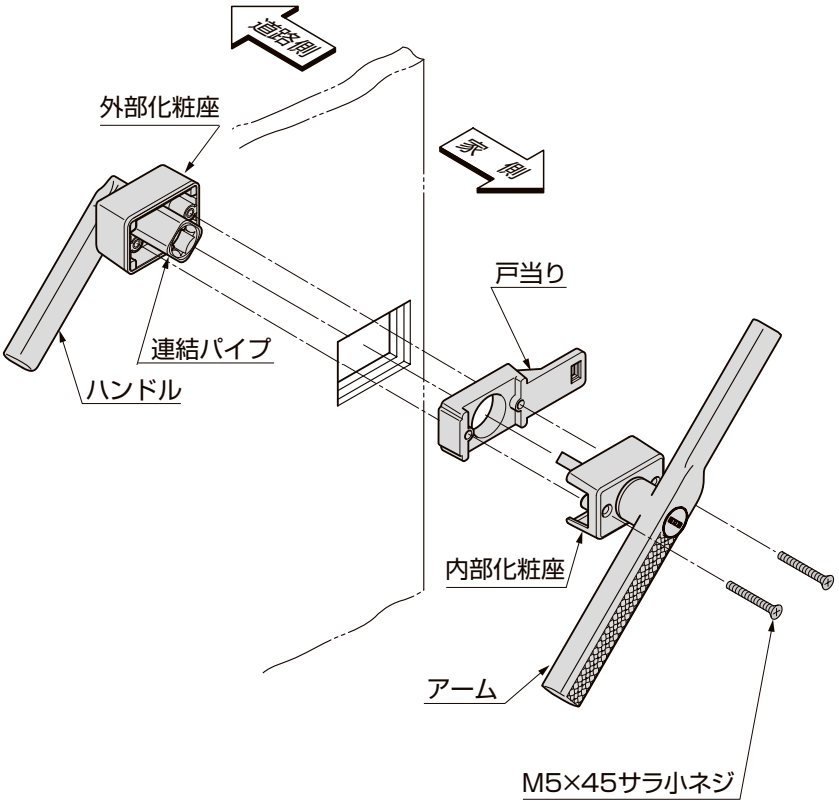
①落し棒ホルダーを【1-1】、【2-1】で門扉本体に取付けてください。
②落し棒を落し棒ホルダーに挿入してください。

ポイント

●落し棒受けは、間口寸法の調整後埋込んでください。

6. 戸当りを取付ける

6-1 鋳物アームRF錠の場合



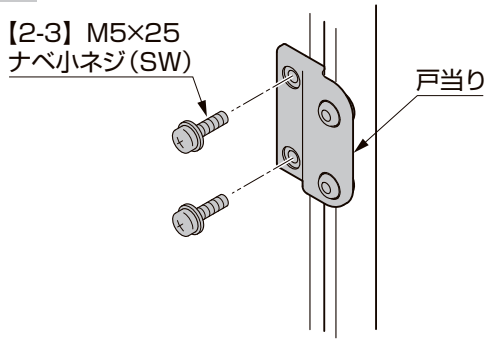
①戸当りを図にしたがって取付けてください。

ポイント

●鋳物アームRF錠の戸当りは、錠本体にセットされています。
●詳細は、鋳物アームRF錠の取付説明書（A578）を参照してください。
●片外開きの場合は「6-3 片外開きの場合」を参照してください。

A579_201303A

6-2 ELA錠の場合



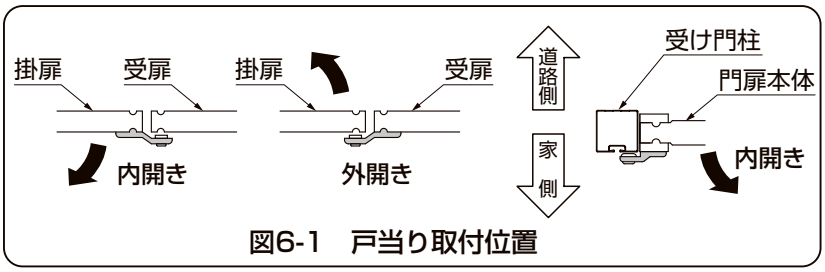


図6-1　戸当り取付位置

①戸当りを【2-3】で門扉本体に取付けてください。

ポイント

- ●戸当りを取付ける位置は、図6-1にしたがってください。
- ●片外開きの場合は「6-3 片外開きの場合」を参照してください。

6-3 片外開きの場合 オプション

※図は鋳物アーム RF 錠を示します。

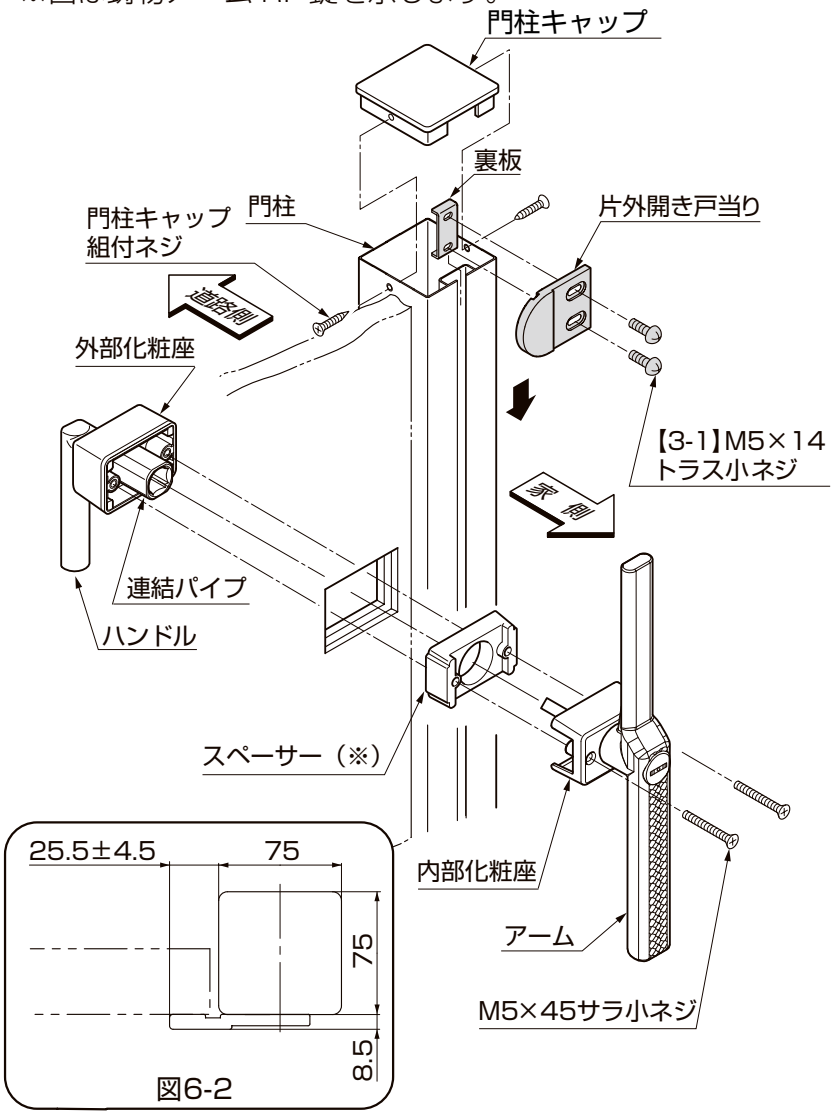


図6-2

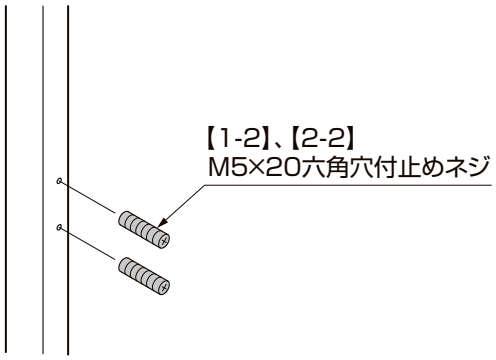
①片外開き戸当りを裏板、【3-1】で門柱に取付けてください。

ポイント

- ●鋳物アームRF錠の場合は、錠本体にセットされている戸当りをスペーサー（※）に換えてください。
- ●戸当りの間口方向の取付位置は図6-2を参照してください。

A579_201303A

7. 穴隠しネジを取付ける



①門扉本体の使用しなかった落し棒取付孔、戸当り取付孔に【1-2】、【2-2】を取付けてください。

取説コード
A579
JZZ625073A
201303A_1047
201607B_1047